



証券コード **5857**

株主のみなさまへ

第**1**期 年次報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

 **ASAHI HOLDINGS**

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第1期事業年度(平成21年4月から平成22年3月まで)におけるわが国経済は、後半には回復の兆しが見え始めたものの、デフレの進行や個人消費の低迷など、依然として不確かな状況が続いています。

このような経済状況のもと、当社グループは、平成21年4月より持株会社制に移行し、「第5次中期経営計画」(平成21年4月から平成24年3月まで)に沿って、成長戦略を推進するとともに、全社的コスト削減活動などを通して収益確保に努めてまいりました。

貴金属リサイクル事業領域においては、前期からの景気悪化の影響を受けたものの、アジア地域を中心とする景気回復および金属市場価格の上昇を背景に、当社グループの金属回収量は期中には増加傾向となりました。金属販売単価の上昇もあり、計画を上回る業績を達成することができました。

環境保全事業領域においては、国内生産活動の低迷により廃試薬・汚泥などの取扱量は減少しましたが、医療系廃棄物の取扱量については堅調に推移し、エレクトロニクス関連分野の取扱量は徐々に回復しました。

これらの結果、当事業年度の経営成績は、連結売上高82,603百万円、営業利益7,888百万円、経常利益7,922百万円、純利益4,377百万円となりました。

以上のような経営の状況をふまえ、当期の期末配当金を1株当たり25円といたしました。これにより、中間配当金と合わせた当期の年間配当金は50円となります。

「第5次中期経営計画」最終年度の利益目標(連結営業利益70億円)を初年度で上回る結果となりましたので、最終年度の計画を連結売上高1,200億円、営業利益100億円に修正いたしました。

今後もさらなる業績の向上に努力するとともに、地球温暖化防止等に関して積極的に企業の社会的責任を果たし、トータルな企業価値の向上を図ってまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

寺山満春

## トピックス 貴金属リサイクル事業の取組み

当社グループではアサヒプリテック株式会社を中心に、貴金属リサイクル事業の新たな取組みを進めております。

エレクトロニクス関連事業を拡大するため、新たな技術を導入し、電子部品等の生産過程で発生する端材等(加工スクラップ)および使用済み製品の解体で発生する回路基板等(市中回収スクラップ)を原材料とする貴金属リサイクルを強化します。このため現在、兵庫県尼崎市で新工場の建設を進めており、今秋から稼働を開始する予定です。



海外事業拡大の一環として、2010年3月、アサヒプリテック株式会社の子会社である上海朝日浦力環境科技有限公司(本社 上海市)と中国励福国際集団傘下の励福実業(江門)貴金属有限公司(本社 江門市)は、中国市場において共同して新たな貴金属リサイクル事業を展開するため、合弁会社「江門朝日励福資源综合利用有限公司」を広東省江門市に設立することに合意しました。合弁会社は資本金1,500万元、出資比率は上海朝日浦力環境科技有限公司が40%、励福実業(江門)貴金属有限公司が60%の予定です。事業の開始は各種許認可取得後の2011年春を見込んでおります。

### **NEWS** 東京工業品取引所の認証

2009年11月、アサヒプリテック株式会社の金・銀・プラチナ・パラジウムの地金が、東京工業品取引所(略称:TOCOM)の受渡供用品に指定され、「品質の高いGood Deliveryバー」との高い評価を受けました。

## トピックス 環境保全事業の取組み

2009年12月、当社グループのJWガラスリサイクル株式会社は板ガラスおよびガラスびんのリサイクル事業を開始いたしました。

事業の目的は以下の通りです。

### (1) ワンストップ型リサイクルサービスの充実

ガラスリサイクルの機能を保有することにより、環境保全事業分野において取扱品目を拡大し、顧客に対するワンストップ型リサイクルサービスの一層の充実を図ります。



### (2) 広範な事業シナジーの追求

JWガラスリサイクル株式会社が取引を行う国内大手ガラスメーカーやサッシメーカー等の顧客に対して、当社グループが保有する産業廃棄物処理や貴金属リサイクルのサービス機能を併せて提案・提供することにより、グループ全体の総合力を発揮し、業績拡大を図ります。



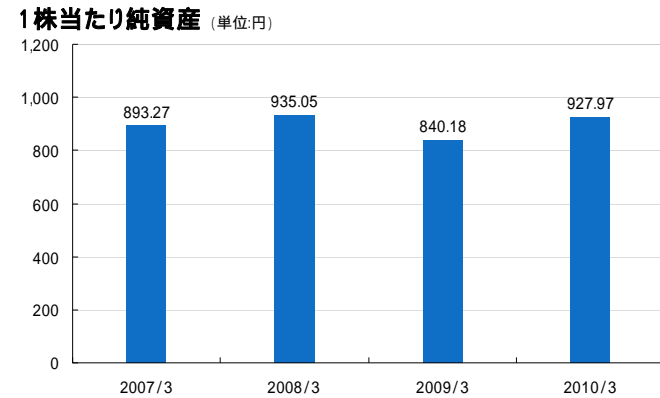
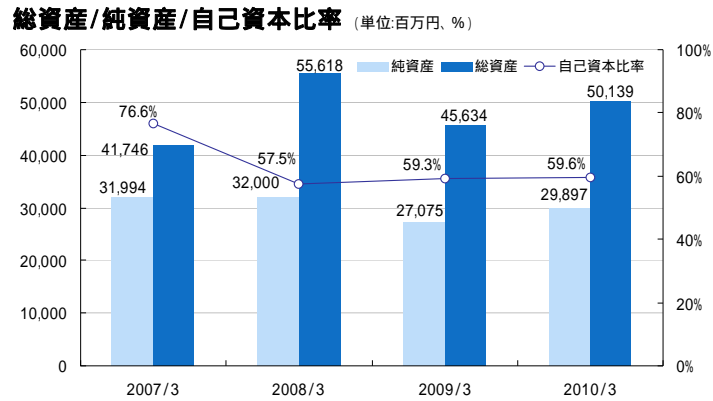
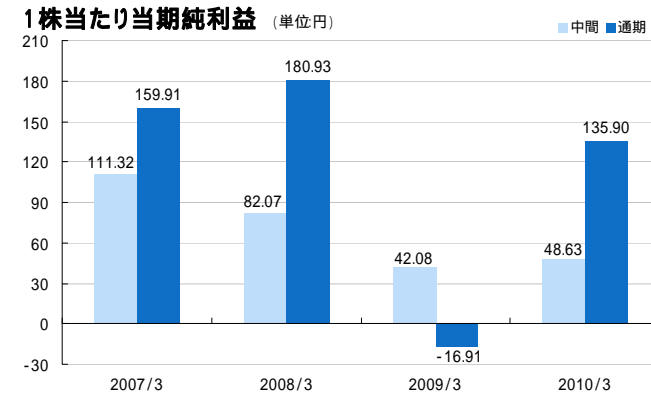
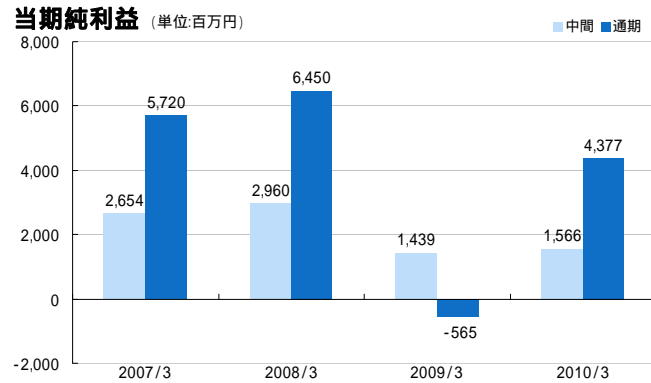
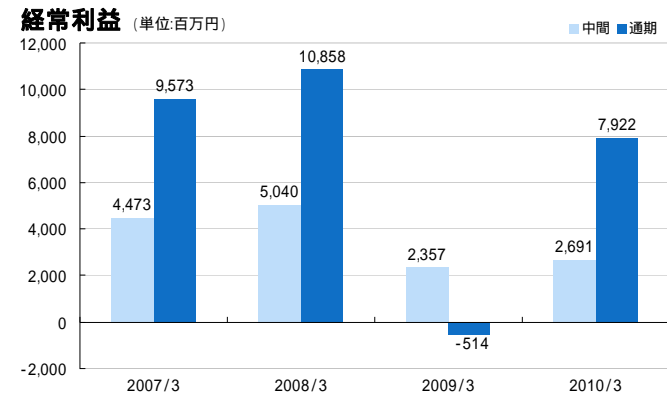
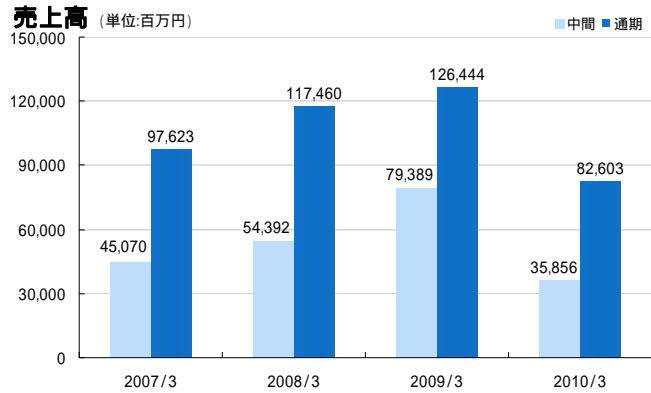
### **NEWS** 温室効果ガス削減対策の推進

当社グループは、温室効果ガスを2020年までに2008年比で25%以上削減するという目標を掲げ、CO<sub>2</sub>削減対策室を設置し、地球レベルの環境課題に積極的に取り組んでいます。

具体的施策として、廃棄物の有効利用(化石燃料代替使用)、省エネ型機器・車両・建物への更新、焼却炉廃熱の有効利用、太陽光発電の導入などを進めます。



# 連結財務ハイライト



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期末 (2010年3月31日)	前期末 (2009年3月31日)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>		<b>22,354</b>	<b>17,250</b>
現金及び預金		2,263	1,824
受取手形及び売掛金		4,037	4,410
商品及び製品		4,250	3,176
仕掛品		8,327	5,876
原材料及び貯蔵品		616	64
その他の		2,867	1,906
貸倒引当金		8	8
<b>固定資産</b>		<b>27,784</b>	<b>28,383</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>25,156</b>	<b>25,055</b>
建物及び構築物		8,751	8,908
土地		12,440	11,296
その他の		3,964	4,850
<b>無形固定資産</b>		<b>2,139</b>	<b>1,951</b>
のれん		1,571	1,711
その他の		567	240
<b>投資その他の資産</b>		<b>489</b>	<b>1,376</b>
<b>資産合計</b>		<b>50,139</b>	<b>45,634</b>

科目	期別	当期末 (2010年3月31日)	前期末 (2009年3月31日)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>		<b>19,825</b>	<b>18,246</b>
支払手形及び買掛金		2,161	1,507
短期借入金		12,449	13,300
一年内返済予定長期借入金		-	10
未払法人税等		2,304	113
賞与引当金		721	673
修繕引当金		124	97
その他の		2,063	2,543
<b>固定負債</b>		<b>416</b>	<b>312</b>
退職給付引当金		179	153
その他の		237	158
<b>負債合計</b>		<b>20,241</b>	<b>18,559</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>		<b>30,061</b>	<b>27,291</b>
資本金		4,480	4,480
資本剰余金		6,054	6,802
利益剰余金		25,444	24,220
自己株式		5,917	8,212
<b>評価・換算差額等</b>		<b>164</b>	<b>224</b>
その他有価証券評価差額金		14	3
繰延ヘッジ損益		152	125
為替換算調整勘定		26	96
<b>少数株主持分</b>		<b>-</b>	<b>8</b>
<b>純資産合計</b>		<b>29,897</b>	<b>27,075</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>50,139</b>	<b>45,634</b>

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当期	前期(参考)
		〔2009年4月1日から 2010年3月31日まで〕	〔2008年4月1日から 2009年3月31日まで〕
売 上 高		82,603	126,444
売 上 原 価		70,426	122,682
売 上 総 利 益		12,177	3,762
販売費及び一般管理費		4,289	4,154
営 業 利 益		7,888	391
営 業 外 収 益		160	105
営 業 外 費 用		126	227
経 常 利 益		7,922	514
特 別 利 益		8	16
特 別 損 失		427	373
税金等調整前当期純利益		7,503	870
法人税、住民税及び事業税		2,319	194
法人税等調整額		805	501
少数株主利益		-	2
当 期 純 利 益		4,377	565

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当期	前期(参考)
		〔2009年4月1日から 2010年3月31日まで〕	〔2008年4月1日から 2009年3月31日まで〕
営業活動による キャッシュフロー		6,219	11,955
投資活動による キャッシュフロー		3,880	5,630
財務活動による キャッシュフロー		2,478	6,437
現金及び現金同等物に係る 換 算 差 額		25	117
現金及び現金同等物の 増 減 額		113	230
現金及び現金同等物の 期 首 残 高		1,824	2,054
現金及び現金同等物の 期 末 残 高		1,711	1,824

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況・会社概要

2010年3月31日現在

発行可能株式総数	129,000,000株
発行済株式の総数	36,254,344株
単元株式数	100株
株主数	11,338名
大株主	

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
アサヒホールディングス株式会社 (自己株式)	3,516	9.70
寺山 満春	1,452	4.01
寺山 正道	1,402	3.87
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,388	3.83
株式会社テラエンタープライズ	1,350	3.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,140	3.15
株式会社K&M	900	2.48
ザ バンク オブ ニューヨーク 132561	875	2.41
花井 幸子	645	1.78
満園 順一	638	1.76

## 会社概要

商 号	アサヒホールディングス株式会社
設 立	2009年4月
創 業	1952年7月(現:アサヒプリテック株式会社)
資 本 金	44億8千万円
従 業 員 数	1,180名(連結)
事 業 内 容	貴金属・希少貴金属資源のリサイクル 環境保全(産業廃棄物の無害化处理)

## 子 会 社

アサヒプリテック株式会社  
 ジャパンウェイスト株式会社  
 JWガラスリサイクル株式会社  
 日本ケミテック株式会社  
 富士炉材株式会社  
 株式会社三商  
 株式会社塩入建材  
 株式会社イヨテック  
 株式会社太陽化学

## 海 外 子 会 社

Asahi G&S Sdn. Bhd. (マレーシア)  
 上海朝日浦力環境科技有限公司(中国)  
 韓国アサヒプリテック株式会社(韓国)

## 取締役および監査役

代表取締役社長	寺 山 満 春
取締役	武 内 義 勝
取締役	東 浦 知 哉
取締役	櫻 井 勉
取締役	田 辺 幸 夫
取締役	森 井 章 二
監査役(常勤)	有 海 澈 明
監査役	小 林 貞 五
監査役	徳 嶺 和 彦

会社法第2条に定める社外役員  
 (2010年6月16日現在)

## 事業所

---

<b>本社事務所</b>	<b>神戸本社</b> 神戸市中央区加納町四丁目4番17号 ニッセイ三宮ビル(〒650-0001) TEL (078)333-5633 FAX (078)333-5681	
	<b>東京本社</b> 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー(〒100-0005) TEL (03)6270-1833 FAX (03)6270-1859	
<b>研究所</b>	テクノセンター	<b>ISO 14001 取得拠点</b> 神戸本社、テクノセンター、仙台、北関東 名古屋、阪神、神戸、四国、北九州、福岡
<b>工場</b>	埼玉、尼崎、神戸、愛媛、北九州、北九州ひびき、 福岡 (以上7ヶ所)	<b>ISO 9001 取得拠点</b> テクノセンター、埼玉、愛媛、福岡
<b>リサイクル センター</b>	埼玉、千葉、尼崎 (以上3ヶ所)	<b>収集運搬業 許可</b> 47都道府県・62政令市
<b>営業所</b>	札幌、青森、仙台、新潟、北関東、関東、横浜、甲府 静岡、名古屋、北陸、神戸、岡山、広島、四国 福岡、北九州、鹿児島、沖縄 (以上19ヶ所)	<b>処分業許可</b> 15都道府県・10政令市

## 株主メモ

---

事業年度	4月1日～3月31日
株主総会の基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL (0120)094-777
公告方法	電子公告により行います。 <a href="http://www.asahiholdings.com/">http://www.asahiholdings.com/</a>